

札幌をささえる下水道を次世代へつなぎます

I 安全で快適な暮らしと良好な環境を守ります

1 下水道機能の維持

<ビジョン 2020>

【施策目標】

- ▶ 下水道施設の機能を確保するため、計画的な点検・調査、修繕などを実施
- ▶ 施設の本格的な改築時期の到来に備え、計画的・効率的な改築手法を検討

<ビジョン 2030>

【取組の方向性】(2020では施策目標)

- ▶ 改築の必要性や時期を総合的に判断しながら計画的な再構築を実施

継続

取組内容① 下水道施設の維持管理

ビジョン 2020 重点	ビジョン 2030
【取組内容】 <管路施設> ● 定期的な点検・調査 ● テレビカメラ調査 ● 調査の結果に基づいた清掃や修繕 <処理施設> ● 定期的な保守点検 ● 予防保全的な修繕 ● 安定した下水処理の継続	【取組内容】 継続

取組内容② 下水道施設の再構築

ビジョン 2020 重点	ビジョン 2030 重点
【取組内容】 ● 長寿命化計画を策定し、計画的な改築の推進 ● 処理施設の再構築の時期や手法の検討 ● スラッジセンターでの汚泥集中処理化の実施⇒ビジョン 2020 で完了	【取組内容】 継続 ※ストックマネジメント計画(長寿命化計画)は策定済 ● 施設規模の適正化等を踏まえた再構築計画の策定 ● 再構築計画に基づく事業の実施

2 災害に強い下水道の構築

<ビジョン 2020>

【施策目標】

- ▶ 浸水の危険性から市民生活や都市機能を守るため、効率的な雨水対策を実施
- ▶ 下水道と河川の連携や市民・企業との協働により、総合的な雨水対策を実施
- ▶ 施設の重要度に応じて、段階的に既存施設の耐震化や代替性の向上を実施

<ビジョン 2030>

【取組の方向性】

- ▶ 大雨時の浸水被害を軽減するため、ハード対策とソフト対策を組み合わせ合わせた雨水対策を実施
- ▶ 地震時の下水道の機能を確保するため、ハード対策とソフト対策を組み合わせ合わせた地震対策を実施

取組内容① 雨水対策

ビジョン 2020	ビジョン 2030 重点
【取組内容】 ● 雨水拡充管の整備 ● 市民・企業・行政の協働による雨水流出抑制の促進 ● 雨水貯留管や雨水ポンプ場の整備 ⇒ビジョン 2020 で完了	【取組内容】 継続 ● 窪地など雨水が集まりやすい場所における被害軽減対策 ● 市民の備えを支援するための取組の実施

取組内容② 地震対策

ビジョン 2020	ビジョン 2030 重点
【取組内容】 ● 都心部の緊急輸送道路下の管路耐震化や汚泥圧送管のループ化 ● 水再生プラザ耐震化の検討 ● 次期「札幌市下水道地震対策緊急整備計画」の策定 ⇒ビジョン 2020 で完了	【取組内容】 継続 ● 重要度や埋設状況を踏まえた管路の耐震化 ● 防災訓練の実施や札幌市下水道BCPなどの継続的な見直し

3 良好な水環境の保全

<ビジョン 2020>

【施策目標】

- ▶ 水質環境基準の達成・維持のために、既存水再生プラザの処理の高度化を実施
- ▶ 汚濁負荷の削減やきょう雑物対策など雨天時放流水質の改善のため、合流式下水道の改善を実施

<ビジョン 2030>

【取組の方向性】

- ▶ 継続

【ビジョン 2030 記載内容の凡例】

黒字：ビジョン 2020 から 2030 で継続して実施する取組

赤字：ビジョン 2030 期間に新規で実施する取組

青字：ビジョン 2020 策定時は予定していなかった又は記載していないが、既に実施している取組

取組内容① 処理の高度化の推進

ビジョン 2020	ビジョン 2030
【取組内容】 ● 既存施設の改造による高度処理の導入 ● 最適かつ効率的な処理方法を選択	【取組内容】 継続

取組内容② 合流式下水道の改善

ビジョン 2020 重点	ビジョン 2030
【取組内容】 ● 対策が必要な処理区における雨天時下水活性汚泥処理法等の導入 ● 吐ロスクリーンや渦流式水面制御装置等の整備 ⇒ビジョン 2020 で完了	【取組内容】 継続

4 下水道エネルギー・資源の有効利用

<ビジョン 2020>

【施策目標】

- ▶ 下水道施設の効率的な運転、省エネルギー設備の導入などにより、温室効果ガスを削減
- ▶ 下水道資源の有効利用を継続して実施するとともに、汚泥の新たな有効利用方法について検討を実施

<ビジョン 2030>

【取組の方向性】

- ▶ 継続

取組内容① 下水道エネルギーの有効利用

ビジョン 2020 重点	ビジョン 2030 重点
【取組内容】 ● 新エネルギーの導入 ● 省エネルギー設備の導入 ● 「下水道における地球温暖化防止推進計画」を策定 ⇒ビジョン 2020 で完了	【取組内容】 継続 ● 民間事業者による下水熱利用の促進

取組内容② 下水道資源の有効利用

ビジョン 2020 重点	ビジョン 2030
【取組内容】 ● 汚泥の 100%有効利用 ● 有効利用メニューの多角化の検討	【取組内容】 継続

札幌をささえる下水道を次世代へつなぎます

II 健全な経営を持続します

5 財務体質の強化

※ビジョン2020では①と②をまとめて一つの重点施策としている

<ビジョン2020> 【施策目標】 ▶ 公営企業として、中長期的な視点に立った健全な事業運営を実施	<ビジョン2030> 【取組の方向性】 継続
---	--

取組内容① コスト縮減

ビジョン2020 重点 【取組内容】 ● 事業の選択と集中及び維持管理の効率化を実施 ● 企業債の新規発行の抑制に努め、将来にわたる負担軽減を図る ● 簡素で効率的な業務執行体制の構築 ● 民間企業や研究機関が持つノウハウを積極的に取り入れて業務を実施	ビジョン2030 【取組内容】 継続 ● 将来的な人口減少を見据えた施設規模の適正化の検討
--	--

取組内容② 財源の確保

ビジョン2020 【取組内容】 ● 適正な受益者負担のあり方について検討	ビジョン2030 重点 【取組内容】 ● 国の交付金や下水道事業が持つ資産の積極的かつ最大限の活用 ● 適正な受益者負担についての具体的な検討
--	---

6 運営体制の強化

※ビジョン2020では①と②をまとめて一つの重点施策としている

<ビジョン2020> 【施策目標】 ▶ 築き上げた技術力を若い職員へ継承するとともに、人材の育成を実施	<ビジョン2030> 【取組の方向性】 継続 ▶ 増加する事業に対応するため、公的機関や民間企業との連携強化を実施するほか、さっぽろ圏域の自治体との連携を実施
---	--

取組内容① 技術力の維持・向上

ビジョン2020 重点 【取組内容】 ● 技術研修や業務事例発表会、実習研修による職員の技術・知識レベルの維持向上 ● 経営研修等による職員のコスト意識の向上 ● 再任用職員の配置による技術・知識の継承	ビジョン2030 【取組内容】 継続
--	--

取組内容② 官民連携の強化

ビジョン2020 【取組内容】 ● 新しく高度な技術を持つ民間企業や研究機関との間で技術交流を深め、互いの技術力を向上	ビジョン2030 重点 【取組内容】 継続 ● 公的機関や民間企業との連携によるさらなる運営体制の強化 ● 多様なPPP/PFIに関する調査・研究の実施 ● さっぽろ圏域の自治体の下水や汚泥の受入れ、災害時の相互支援
---	--

III 幅広い世代への理解を促進します

7 下水道の見える化

※ビジョン2020では施策ではなく、各施策を展開する上での、市民理解や市民参加を促進するための取組としている

<ビジョン2020> 【施策目標】 -	<ビジョン2030> 【取組の方向性】 ▶ 下水道に対する理解を深めてもらうため、下水道科学館を活用した取組を実施 ▶ 下水道を身近に感じてもらうため、下水道への関心を高めてもらう取組を実施
---	--

取組内容① 下水道科学館の活用

ビジョン2020 【取組内容】 ● 下水道科学館および水再生プラザの見学による環境教育	ビジョン2030 【取組内容】 継続 ● リニューアルした展示物の活用により楽しみながら下水道を学べるイベントの実施
---	---

取組内容② 効果的な情報発信

ビジョン2020 【取組内容】 ● 広報誌やホームページなどを活用した情報発信 ● ワークショップや意見交換会の開催、パブリックコメントやアンケートの活用 ● 下水道モニター制度の活用(※) ● 出前講座による下水道事業への理解の促進 ※広報イベントを活用したアンケート調査に移行（2019年度～）	ビジョン2030 重点 【取組内容】 継続 ● 学生世代に向けた広報事業の展開 ● 多様な手段による情報発信と職員の情報発信力強化 ● 下水道サービスの向上につなげるためのワークショップの開催、広報イベントを活用したアンケート調査などの実施 ● 集中豪雨における市民の備えを支援するための情報提供(再掲)
---	---

【ビジョン2030記載内容の凡例】

黒字：ビジョン2020から2030で継続して実施する取組

赤字：ビジョン2030期間に新規で実施する取組

青字：ビジョン2020策定時は予定していなかった又は記載していないが、既に実施している取組